鎧橋随想

失ってはいけないもの

オリエント貿易専務
馬見塚　博

かつて日本のどこでも路地裏や原っぱがあった頃、夢や冒険にあふれた子供社会がありました。子供同士でルールを決め、ケンカもし、自然とコミュニケーションや忍耐力、創造力を養うことができました。

今の子供は人間臭さがなくなり、ゲームのような仮想空間で夢や冒険を満たしています。深入りしなければいいのですが、中には犯罪をゲーム感覚でやる子供が後を断ちません。こうした子供は社会に不安を持ち、自己評価が低く、他人に対する痛みも想像できないそうです。

世界に目を向けて見ると、途上国の子供たちは毎日川に水汲みにいったり、厳しい環境でも本当の意味での生きる力を学んでいます。それを日本人はボランティア的な目で見ていないでしょうか。

逆に貧弱な体と心、水汲みにもいけない不健康な生活をしている日本の子供こそ、本当にかわいそうな姿ではないでしょうか。世の中どこかピントがずれてしまっている気がします。

私たちは便利さと引き換えに失ったものがありますが、大人が誇りや自信を失ってはいけません。それが子供にとっての鏡となり、夢となるのですから。私自身、年頃の娘二人がいますので、夢をもった人間であり続けたいと思っています。

いつになったら……

オムニコ常務
加藤　孝司

「飛距離が自慢の幼稚園生」（スコットランドに古くから伝わる戯れ歌の一部）といわれようが、ゴルフをする人にとって飛距離は大きな魅力です。人間が自分の力だけでこれほど遠くに物を飛ばせるのは他にないのではないでしょうか。

「青空に白球が高く弧を描いて……」とまで言わなくとも、同伴競技者よりわずかでも前へ飛べば何となく嬉しくなり、いつもは負けない相手に20ヤードもおいて行かれると次のティーショットでは思い切り力んでしまってミスショット。

ナイスショットをワイフに一言「あら、あんまり飛んでないわね」などと言われようものなら、その日1日ガタガタ。挙げ句の果てメーカーの謳い文句に誘われ、クラブを、ボールをということに。

「スコアにこだわる　小学生」「景色が見える　中学生」「マナーに厳しい　高校生」「歴史がわかって　大学生」「友、群れ集う　卒業生」（先ほどの戯れ歌の続き）

キャディバッグの中にはいつもルールブックを入れ、ゴルフ関連の本も結構読んでいるつもりなんです。プレー後のお酒も大好きな方なんですがね……。

『東京駅』

光陽ファイナンシャルトレード取締役
緒方　保孝

先日、20代の頃に勤めていた会社から東京駅までの道を久し振りに歩く機会がありました。

記憶では駅まで約700メートル、歩数で900歩くらいであったと思われたのに、20数年を経て歩くと、駅が遠ざかってしまったかのように長い道のりに感じられ、数えていた歩数も途中で分からなくなる始末。

偶然にも、その日は駅で旧い友人に出逢い、思いがけなく楽しい一夜を過ごすことが出来たのですが、話すほどに互いの記憶違いが端々にあり、体力と記憶力に年齢を感じた一日でした。

たまのゴルフ以外になかなか体を動かす機会の少ない昨今、ジョギングなどを自分のペースで続けることは体力面だけでなくストレス解消にも最適であり、是非とも自分の趣味の一つに加えて行きたいものと思っております。

熱中し感動することができる趣味を持つことは良い老化防止薬と聞きます。

仕事柄、相場の動向など悩みには事欠きませんが、今後は不精をせず、体と頭の両方に刺激を与えながら、業界を取り巻く環境の変化をチャンスと捉え、若々しく仕事に取り組んで参りたいと考えております。

マイゴルフ

北辰物産常務
矢吹　敏之

ゴルフを始めて約25年になる。普段は頭の上がらない上司にもプレー中は気軽に冗談も言える。それと、まぐれ当たりであってもドライバーの爽快感、これらがゴルフを始めるきっかけになったような気がする。以後、上達したい一心で続けてきたが歳と共に飛距離が落ちてくる。

昨年だったと思うが日経新聞の片隅に飛距離とハンディ理論の記事があった。ゴルフ場にはコースレートというものがあるが、日本でこの認定に用いる公式はコースレート＝（コースの全長÷210ヤード）＋39.76である。

これを変形させてゆくとハンディ10を切るには常時210ヤード以上の飛距離が必要である。技術的なものを同じとすれば飛距離だけが問題となる。

シニアゴルファーはシングルになりにくい、あるいは若い頃はシングルでも加齢と共に2桁ハンディに落ちるのも飛距離の減退からくるものである。以上のような記事であった。やはり飛距離はゴルフにとっては最大の要件のようである。

そこで最近は、目的を切り替えて何かひとつその日に達成しようと決めて望んでいる。それが達成できた時の喜び、満足感を得るのと、おいしいビールを飲むために！

万博公園

朝日ユニバーサル貿易
取締役
中島　享

私の住まいのすぐ側に万博公園はあります。33年前、大阪万国博覧会が開催された跡地で、広大な公園とエキスポランド（遊園地）、ガンバ大阪のホームグランド等も有り、シンボルであった岡本太郎作の太陽の塔は今も健在です。現在も様々な催し物が行われ、老若男女が四季を問わず楽しめます。特に春の桜、秋の紅葉は格別です。私にとっては庭がわり、なくてはならない場所になっております。

この地に住み始めてから、かれこれ15年。二人の子の安全で快適な遊び場として日々お世話になり、子供達がこれ迄、健康に伸び伸びと育つことができたのもこの万博公園のお蔭と感謝しています。長男、長女もそれぞれ高2、中2となって我々夫婦とはめったに遊んでくれなくなり、先日は初めて夫婦2人だけで散歩がてら公園に出かけてみました。丁度、陶器市がたっており、抹茶茶碗の気に入った物が見つかり、2つ求めて帰りました。

これからは当分この公園に夫婦2人でお世話になることになります。まだまだずっと先のことですが、もし孫でもできればその手を引いて、又一緒にお世話になろうと密かに楽しみにしております。

作文

岡地東京支店管理本部長
宇佐美　敏雄

思いがけず「鎧橋随想」に投稿することになった。何10年か振りの「作文」かと思いつつも、最初はこのくらいどうってことはないかと高をくくっていた。ところが、いざ書こうとペンを取ってみて焦った。何をどのように書こうかイメージが何も浮かんでこない。

仕事の方はそれなりにこなしている？……と思っている。趣味も決して無趣味と言う訳でもない。現に我家の庭とも言えない空間には草花（山野草）の鉢、約250鉢が雑然と置かれていて、これの世話だけでも優に休みの1日はつぶれてしまう。

書くことはいくらでもある筈なのにやはり何も浮かんでこない。そこで、ふと思った。仕事上の文書等は毎日見飽きるほど見ているし、その作成も又然りで、大体固定化された書式に沿って作成することが多い。

形式にとらわれ過ぎて無味乾燥なものになってしまうのも止むを得ない。永年のそのような習慣が知らず知らずの内に身について、柔軟な発想ができなくなってしまっているのではないかと。

泰然自若などと偉そうなことを言う気持ちは毛頭ないが、せめて簡単な作文くらいは自由な発想でスラスラと書けるくらいの、気持ちにゆとりと柔軟さを持ちたいものだと考えさせられた。

拝見・SCC活動
テーマは「無償の愛」

第1回ハイキング（三俣山で）

さくらフューチャーズ
会長
小菅　正良

小菅さんがSCC（さくら・コミュニケーションズ・クラブ）を立ち上げて1年半経った。現在では会員が500名に迫り、当初の計画を上回るスピードで交流の輪が広がっている。少子高齢化社会の到来で、孤独との闘いを余儀なくされる中高年層に触れ合いの場を提供しようという狙いは見事に的中した。

いま数々のサークル活動が賑わっている。詩吟、押し花、アートクレイ（純銀粘土細工）、ボウリング、ゴルフ、ハイキング、小旅行。週末のパソコン教室ではさくらフューチャーズの若手社員がインストラクターを務める。半年に1回交流大会を開き、これにはざっと100名の会員が顔を揃え、カラオケなどで盛り上がる。

SCC会員規約は至ってシンプル、「無償の愛・社会貢献」に賛同した人はだれでも入会できる。会費はゼロ、経費が伴う行事には実費を負担する。新幹線博多ビル内にあるさくらフューチャーズ本社の一室を事務局に提供し、会員専用サロンとして交流の足場となっている。入り口に中村光弘福岡商品取引所理事長の手になる「無償の愛」の書が掲げられている。

ボランティア活動にも力を入れ、水害復旧作業に参加したり、納涼祭に協賛した。また、SCC協賛店も増えてきた。理髪店、ゴルフクリニック、生花店、木彫教室、民芸家具など会員カードを提示すると、割引する店が出てきた。

SCCのイベント情報は四半期1回発行の会報（A4判、16ページ、オールカラー）に掲載されるほか、ホームページに掲示される。

SCC活動は9名の推進委員が企画立案する。小菅さんは同クラブの代表だが、「わたしはあくまで一会員です」と裏方に徹する構え。会報の表紙はもっぱら小菅さんの写真で飾っており、さしずめSCC専属カメラマンか。

手数料自由化を控えて緊張感も漂う先物業界だが、小菅さんはその厳しい現実と対峙しつつ、アフター5は別個の世界を構築しつつある。夢は老人施設をつくり、新たなコミュニティ活動を展開することだという。

バドミントン
初の全世代タイトル
フジチュー（現MMGアローズ）の佐藤選手

バドミントンの全日本総合選手権の男子シングルス決勝戦が11月9日、名古屋市千種スポーツセンターで行われ、フジチュー（12月1日よりMMGアローズ）所属の佐藤翔治選手（21歳、世界選手権代表＝写真）が、同じ所属の佐々木翔選手（21歳、釜山アジア大会代表）を2―0で破り、初優勝した。

佐藤選手は小学生、中学生、高校生、大学生で日本一になっている。今回の優勝で、同種目で初の全世代のタイトルを獲得したことになる。

バドミントンの競技では「フジチュー」は広く知られた存在。長年、選手の育成に取り組み、オリンピックに同社所属選手を次々と送り出している。佐藤選手についてもオリンピック選手に育てばと夢を膨らませている。

◆事務局だより◆

総選挙を経て第2次小泉内閣が発足しました。

構造改革の推進により様々な産業分野での市場リスクが拡大・多様化することが予測される中、効率的なリスクの再配分を行う経済インフラである商品先物市場制度の整備は国家的急務でもあると言えますが、商品取引所分科会の中間報告案では、商品取引員を市場の流動性確保に不可欠な市場仲介機能の担い手として明確化しました。

一方、最近の新聞報道によれば、投資信託や外貨預金などの「リスク性商品」に個人の金融資産がシフトしつつあるとのことです。

手数料自由化など商品取引員経営にとって厳しい現実もありますが、経済社会の大きな潮流は取引員にとってフォローであると言えるのではないでしょうか。